



北九州 PCB 廃棄物処理事業だより (No.4)

平成30年4月号

■ 新年度を迎え、運転会社との合同安全大会を開催しました。

4月2日、運転会社と合同で安全大会を開催しました。冒頭、事業所長の安井より「平成30年度は、北九州PCB処理事業所にとって大きな節目の年となります。変圧器・コンデンサーは、計画的処理完了期限を迎え、処理する台数が減って、これまでとは異なる状況となりますが、集中力を切らさず、一つひとつ作業を確実に行って下さい。また、安定器等のプラズマ処理は今年度も高い稼働率を継続していきます。こちらも集中力をもって作業を行い、トラブル・事故のない着実な処理をお願いします。PCB廃棄物を安全に確実に処理していくことを再確認して、今年度も無事故・無災害を達成しましょう。」と訓示をしました。

北九州環境プラントサービスより「平成29年度は無災害でした。これはJESCO・運転会社が一体となって改善を行ってきた結果です。今年度も確実に処理を行い、無事故・無災害を達成しましょう。」との話がありました。

最後に従業員を代表して運転会社社員による「安全決意表明」がなされ、従業員全員が、PCB廃棄物の安全・確実な処理に取り組む決意を新たにしました。



安全大会の様様

■ 変圧器・コンデンサー等の期限内処理について

本年3月末に北九州事業エリアでの変圧器・コンデンサー等の処分期間（保管事業者様との契約の期限）が終わりを迎えました。

4月2日、環境省より「中国・四国・九州・沖縄地方にある高濃度PCB廃棄物（変圧器・コンデンサー）の処分期間が終了しました」という報道発表がありました。この処分期間内に処分委託契約が締結されていないケースについては、PCB特別措置法第12条に基づき、各自治体による改善命令等の行政処分の対象となり、計画的処理完了期限である平成30年度中の確実な処理完了を図ることとなります。

以下は環境省報道資料からの抜粋です。

『北九州事業エリアでは、（中略）JESCOにおける処理も、3月29日時点で変圧器類について約99.8%、コンデンサー類について約97.7%（それぞれ未だ処分委託契約されていないものを含む全体処理対象量に占める割合）が完了している状況にあります。

一方で、年明け以降に新規登録が一時増加した影響により、3月29日段階で46事業者（変圧器1台/コンデンサー175台）が未だ処分委託契約が締結されていない状況にあります。そのうち、多くの事業者は年明け1月以降に発覚したものであり、既に処分委託契約の手続きを進めておりますが、うち10数件程度の保管事業者については、各自治体において、改善命令等の行政処分を実施すべく準備を進めているところです。』

今後も環境省・自治体・JESCOが一体となって、北九州事業エリアの変圧器・コンデンサー等の計画的処理完了期限内の処理完了の達成に向け、取り組みを更に進めてまいります。

なお、変圧器・コンデンサー等以外の安定器及び汚染物等の計画的処理完了期限は平成33年度末となっており、引き続き安全・確実な処理の推進に努めていきます。

■ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会を開催しました。

3月28日東京において処理事業検討委員会を開催し、「北九州 PCB 処理事業における変圧器・コンデンサーの処分完了に向けた取組及び状況について」等を報告し、有識者からご意見をいただきました。

委員会に先立ち、当社代表取締役社長谷津より「本年度の PCB 処理事業はおおむね順調に推移しています。



委員会冒頭で挨拶をする谷津社長

PCB 特措法の改正により、処理期限の 1 年前までの処分期間内に JESCO との処理委託が義務付けられ、北九州 PCB 処理事業所では 3 月 31 日が処分期間の末日となります。PCB 処理の完遂は、地元の皆様方とお約束ですし、国際約束でもございます。社会の負託に応えるために、環境と安全を第一に、情報公開を確実に進めるとともに、高い使命感と緊張感をもって一層の努力を積み重ねてまいり所存です。」と挨拶し、処理完遂に向けて決意を表明しました。

■「平成 29 年度 PCB 廃棄物処理収集運搬事業者業務連絡会」を開催しました。

3月30日アジア太平洋インポートマート (AIM) にて収集運搬事業者を対象に安全・確実な搬入を目的に業務連絡会を開催しました。

当日は、当社の操業状況の報告の他、保管事業者の方が安心して運搬を依頼できるように、運行計画書の早期提出の依頼をしました。また収集運搬に関わるトラブル事例を紹介すると共に、情報交換を行い、安全・確実な収集運搬を行う事を改めて確認しました。

当社では、安全な操業はもとより、安全・確実な収集運搬にも取り組んでまいります。



収集運搬事業者業務連絡会の模様

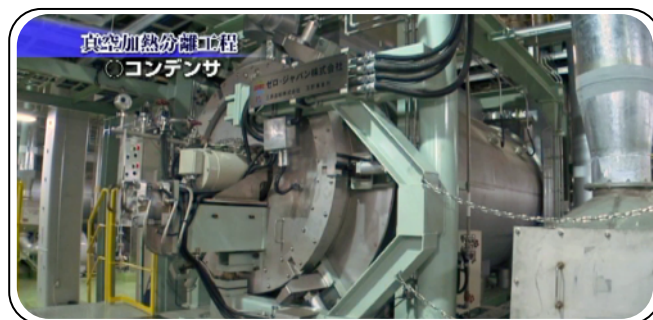
■事業所あれこれ紹介

～真空加熱分離装置 (VTR)～

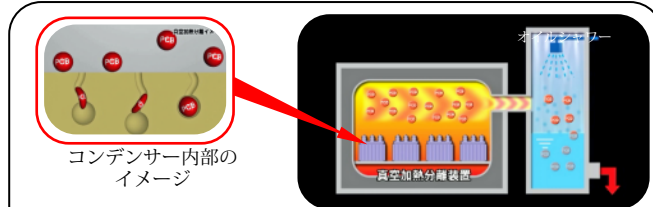
真空加熱分離装置は、主にコンデンサー内の PCB 処理に使用しています。コンデンサーを解体せずにそのまま処理できるのが特徴です。

装置内を真空にし、約 400℃まで加熱し PCB を気化させます。ガス状になった PCB をオイルシャワーで回収します。これを 1 バッチとし、処理時間は約 48 時間になります。

回収した PCB は金属ナトリウムを用いた、脱塩素化分解により無害化処理を行います。



真空加熱分離装置



コンデンサー内部のイメージ

真空加熱分離処理イメージ

【連絡先】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 北九州 PCB 処理事業所

【所在地】 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町 1 丁目 62-24

【連絡先】 ☎ 093-752-1113 [HP] <http://www.jesconet.co.jp/facility/kitakyushu/>

アザラシの「ぴーちゃん」

